令和元年度　全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立　　二島　　中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年６～７月に、２年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。
※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

１．調査の目的

⑴　子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵　各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

⑶　各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

２．調査内容

⑴　実技に関する調査

※　［8種目］　握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる。

⑵　質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

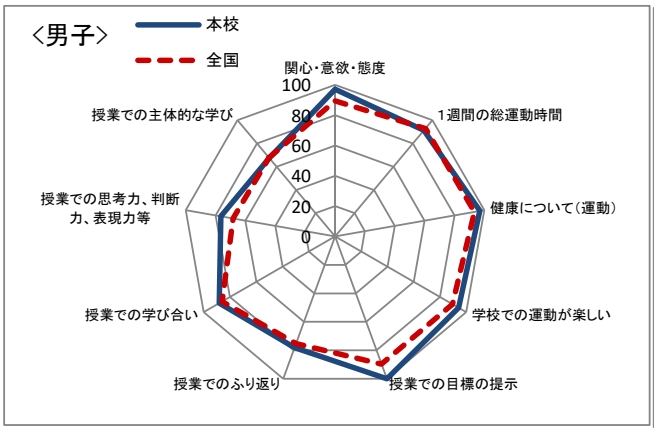
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	２０mシャトルラン	５０m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.65	26.96	43.50	51.91	398.98	83.53	8.02	195.03	20.40	41.69
本市	29.63	28.64	46.77	53.12	401.16	84.64	7.87	200.12	21.00	44.54
本校全国平均以上の種目	○	○		○		○	○	○		○

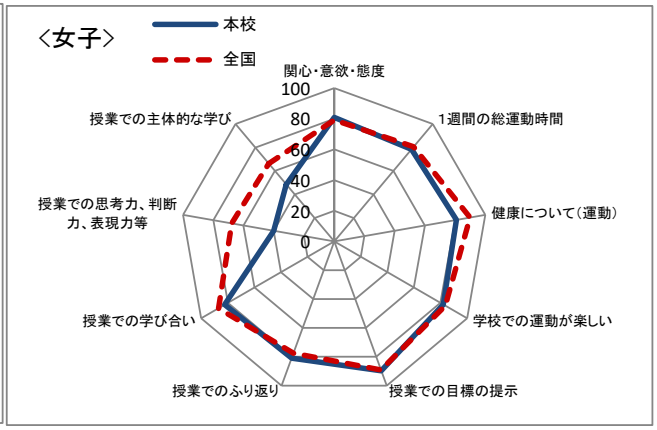
＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	２０mシャトルラン	５０m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.79	23.69	46.32	47.28	289.82	58.31	8.81	169.90	12.96	50.22
本市	24.35	24.38	48.94	47.85	286.99	58.41	8.73	174.72	12.95	52.11
本校全国平均以上の種目		○	○	○			○	○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析
○男女ともに「運動やスポーツが好き」と回答した割合が高く、運動に対する関心や意欲が高い。 ○保健体育の授業では「「めあて」が提示され、目標をもって学習に取り組むことができている。（男子は100%） ●保健体育の授業において、個人競技ではフォームや姿勢の改善、集団競技ではゲームの流れや作戦についてタブレット等を活用し、自分たちで課題をみつけ改善できるような学習を取り入れ主体的な学びを推進する。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で）

・生徒同士での話し合う活動やアドバイスをし合う活動を取り入れる。
・振り返りカードを毎時間取り入れ、成果が見られたため、継続してさらに徹底して振り返り活動を行うよう努める。
・保健体育の授業において自分にあった練習や場を自分で選んで活動できるよう工夫する。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

・健康増進、体力向上のため学校や保健体育の授業時間以外でも運動するように各自で継続して取り組む目標を決める。体力アップカードなどを活用し、自主的な取り組みを定期的にチェックする。
・保健体育の授業で毎時間の準備運動の際、ボール投げを取り入れ「ハンドボール投げ」の記録向上を目指す。